

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月25日

事業者名: 株式会社ハラカラ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
				指標	目標
環境	①社内のペーパーレス化を推進している ②オフィス以外でも仕事のできる環境を整え、移動にかかる環境負荷を低減している	⑧働きがいも経済成長も、⑫つくる責任 つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を	①初年度(2021年)比、コピー用紙の使用量約20%減 ②初年度比、オフィスでの業務時間約50%減	指標	コピー用紙の使用量
				目標	2026年で初年度比50%減を達成
社会	地域の魅力発信がSDGsの観点からまちづくりにつながる旨の講演活動を実施している	④質の高い教育をみんなに、⑩住み続けられるまちづくりを	2023年8月時点で4校(中学校1校、高校2校、大学1校)の実施(予定含む)	指標	教育機関における講演実施回数
				目標	2026年までに延べ10校受け入れ
経済	観光を通じた地域産業育成のための関係人口拡大	⑧働きがいも経済成長も、⑩住み続けられるまちづくりを、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	2023年8月時点で観光分野におけるパートナーが22社(自社サービスの提供先施設、コンサルティング対象施設などの合計)	指標	観光分野パートナー
				目標	2026年までに50社と連携
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  プロジェクト単位で企画立案時にSDGsの側面から実施可能な取り組みを検討(例:プラスチックの使用量を削減できる資材の選定をする、環境へ低負荷となりうるパートナーの選定等) 実施後に計画どおりに実施できたかを再検討、次回実施時に備えた報告書を作成			
	<input checked="" type="checkbox"/>				